

キャラクター名
月影うらら

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ウロボロス		ワークス	FHエージェントC	カヴァー	トップアイドル
	オプション		年齢	17(外見・実年齢共に)	性別	女
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	53	%
出自	天涯孤独	経験	伝説	邂逅	栄光	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	1		0			1	行動値	11
感覚	2		0			2	(非装備時)	11
精神	3	1	3			7	戦闘移動	16
社会	2		0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	6	
運転:			芸術:	11		知識:恋愛小説	2		情報: FH	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エンブレム: 狂気の沙汰	コネ: 手配師
カジュアル	
カジュアル	
フォーマル	
アクセサリ	
制服	
携帯電話	
携帯電話	
モバイルPC	
コネ: FH幹部	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 古代種P		N		
“プランナー”都築京香P	傾倒	N 恐怖		
「オルトロス」P	友情	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P: 11

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: オルクス	2	2	メジャー					
効果:								
茨の戒め	1	1	メジャー					
効果: 射攻+[LV]								
要の陣形	3	3	メジャー					
効果: 「対象: 3体」に								
未知なる陣形	1	-	常時					
効果: ↑の対象を「5体」に 基本inv+5								
原初の赤: 魔獣の衝撃	5	3	メジャー					
効果:								
原初の黄: 加速装置	3	2	セットアップ					
効果: 射攻+5 判定ダイス+								
フラットシフト	1	0	オート				Dロイス	
効果:								
原初の白: 時間凍結	1	7	イニシアチブ				80%	
効果:								
永劫進化	1	3	セットアップ				80%	
効果:								
原初の黒: プラズマカノン	3	6	メジャー				100%	
効果:								
ナーブジャック	1	4D10	メジャー				120%	
効果:								
原初の虚: 氷熱の軍団	5	12	オート				120%	
効果:								
闘争の渦	1	5	オート				120%闘争	
効果:								

“マスターアイドル”月影うらら

「マスター」の称号を冠するFHのマスターエージェントにして、エンドライン世界でのトップアイドル。その名は日本はおろか世界中に広まっており、一時期に限定されるがセカンドアルバムの売り上げが世界各地のオリコンチャートを文字通り「総ナメ」していたという伝説はあまりにも有名。

元は普通の女子高生だったが、とある事件をきっかけにオーヴァードとして覚醒、しかも歳を取らない「古代種」のレネゲイドに感染してしまった事から、長年の夢であったアイドルへの道を諦め、コードネーム“夢の守り手”として自分と同じようにレネゲイドによって夢を失わないように、フリーランスのオーヴァードとして影からジャムを狩っている……というのが通常ステージの話。

FHがレネゲイドの真実を公開し、世界がそれを受け入れ、またプロパガンダの一環としてアイドルを積極的に期用するようになると、彼女の事情は瞬間に変化する。

彼女の持つ古代種のレネゲイドが持つ意味は、「永劫歳を取らない化け物」から、「永遠に歳を取らない究極の偶像(アイドル)」へと変貌した。

その事実気付いたFHは早速うららをアイドルとしてスカウト。

最初は戸惑っていたものの、幼少期から鍛錬を積み重ねてきたうららのアイドルとしての実力は、他のオーヴァードアイドルを圧倒する程の物だった。

前述の古代種の持つ不老性もFHが魅力として大々的にアピールを重ねた事からうららの人気は爆発的に上昇。

また本人の戦闘能力も非常に高く、うららの人気に嫉妬した他アイドルのファン(オーヴァード)が仕掛けた集団での奇襲も見事にいなし、ボディーガードが全員殺されたにも関わらずうらら単独でそれらのオーヴァードのこごとくを蹴散らしたという事件はあまりにも有名。

アイドルとしての実力、オーヴァードとしての戦闘能力の両方に優れ、現在のFHに欠かせない存在となっている事はリエゾンロードですら認める所となった。

そういう訳で、今ではプロパガンダの為にアイドルを保有するセルを直轄するマスターエージェント——「マスターアイドル」と呼ばれるにまで至ったのだ。

うらら自身、一度は諦めた道であったアイドルという夢を、最高の形で実現できる世界へと変えてくれたFHという組織には感謝している。だが、元々フリーランスとしてFHエージェントと対峙した経験があった以上、FHが「善き統治者」である事などは思っていないし、FHの理想に共感して

